

令和 6 年度 学校経営環境分析書

横路中学校区 校番 6 学校名 横路中学校

1 学校の内外環境の分析

| | | | |
|------|--|---|------|
| 外部環境 | <p>O (支援的要因)</p> <p>【地域】</p> <p>① 協力的であり、学校への支援が期待できる。</p> <p>② 保・小・高との連携が密接である。</p> <p>【市教委】</p> <p>③ 小中一貫教育の方向性ができている。</p> <p>④ 指導主事派遣等の支援が迅速である。</p> <p>【小学校】</p> <p>⑤ 小中一貫教育推進に向けて共通理解ができている。</p> | <p>S (強み)</p> <p>【教職員】</p> <p>① 専門性が高く、仕事熱心で、責任感が強い。</p> <p>② 職員の連帯感がある。</p> <p>③ 課題や情報を共有し、組織的に取り組んでいる。</p> <p>【生徒】</p> <p>④ 前向きに学校生活に取り組む生徒が多い。部活動に熱心である。</p> <p>【保護者】</p> <p>⑤ 学校教育に対して理解があり、PTA 役員も非常に協力的である。</p> | 内部環境 |
| | <p>T (阻害的要因)</p> <p>【地域】</p> <p>① 生徒との関わりが薄いところがある。</p> <p>② 地域社会のつながりが低下している。</p> <p>③ 川に近く水害の危険性がある。</p> <p>【小学校】</p> <p>③ 一小学校のため人間関係が固定化している。</p> <p>【保護者】</p> <p>④ 家庭の教育力に支援が必要な場合がある。(携帯・スマホ使用、ゲーム依存に係るルールの確立・遵守、基本的生活習慣、学習習慣の確立、規範意識の涵養)</p> | <p>W (弱み)</p> <p>【教職員】</p> <p>① 「学びの変革」「授業改善」の意識は高いが、メタ認知を高める学習指導が十分であるとはいえない。</p> <p>② 特定の教職員の負担が大きくなる傾向がある。</p> <p>【生徒】</p> <p>③ 基本的生活習慣が身につけておらず、社会性が育ってない生徒がいる。</p> <p>④ 自分で計画して学習する習慣が十分確立していない生徒がいる。(課題未提出者の固定化等)</p> <p>⑤ 内面的発達の個人差が大きい。自己肯定感の二極化が見られる。</p> | |

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

(1) 主体的に学ぶ意欲の育成

① 授業改善と積極的生徒指導により、主体的な学びを促す。(O-2345, S-1)

(2) 協働性と社会性を育む

① 生徒主体の学校づくりの推進(S-234)

② 協働の活動を通して、生徒の自尊感情を高める。(O-125, S-45)

(3) 健康で安全な生活

① 基本的生活習慣の確立(O-1, S-123)

② 防災教育の深化(O-1235, S-5)

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

(1) 主体的に学ぶ意欲の育成

① 授業改善と積極的生徒指導により、主体的な学びを促す。(T-2, W-12345)

(2) 協働性と社会性を育む

① 生徒主体の協働の活動を通して、生徒の自尊感情を高める。(T-1234, W-2345)

(3) 健康で安全な生活

① 地域・家庭と連携した基本的生活習慣確立の取組(T-124, W-3)

② 防災教育の深化(T-124)

2 重点課題

- (1) 学習内容の定着と論理的思考力を育成し、主体的に学ぶ意欲を育成する。
 - ・授業等において根拠を明らかにして考える場を設定する。(アウトプット活動を充実させる。)
 - ・授業改善と家庭での学習習慣の定着を図り、学習意欲を高めることで学習内容の定着を図る。
- (2) 生徒主体の学校づくりを推進し、生徒の自尊感情を高める。
 - ・教育活動全般において、生徒指導の三機能を意識して取り組み、自分で考えて行動する力と協働して取り組む力を育む。(自己決定の場を与え、自己存在感を高め、共感的な関係を築く。)
 - ・協働の活動と貢献の場を設定し、生徒に社会の一員としての自覚と参画意識を持たせる。
- (3) 基本的生活習慣の確立と防災教育の充実を図る。
 - ・朝の遅刻者を減少させる。
 - ・長期欠席者、不登校生徒を減少させる。
 - ・生徒主体の防災教育を推進する。
 - ・3年間継続した系統的な取組を通して「自分の命は自分で守る」生徒を育てる。